

【留意】火気使用会社は、自らの責任において厳重な火気の扱い・確実な後始末の実施を徹底してください。

年 月 日

火 気 使 用 願

作業所名 浜松市文化ホールII

一次会社 大滝建設株式会社

作業所長 夏川 二郎 殿

使用会社
(二)次 株式会社石田工務店

現場代理人
(現場責任者) 幸村 顕司 (印)

下記の要領で火気使用いたしたくご許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨ご報告いたします。

必ず火気使用の前に
提出してください。

※ 使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

使用場所	屋上の手摺取り付け		
使用目的	○溶接、○溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、炊事、その他 ()	使用期間 使用日時 (原則)	7月15日～12月10日 8時30分～17時00分
火気の種類	○電気、○ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他 ()		
管理方法	○消火器、消火用水、消火砂、防災シート、○受皿、標識、○監視、取扱上の注意 ()		
火元責任者 (後始末巡回者)	小松 一三	火元責任者と火気使用責任者は原則として同一とならないようにする必要がありますが、単独等の事情などがある場合はその限りではありません。	
火気使用責任者	中山 正		
許可条件	1. 火花及び切断屑は必ず受皿で受けること。 2. 作業場所には粉末消火器を配置すること。 3. 作業終了時は火がないことを確認すること。		